

# 2021 年度新築戸建住宅の ZEH シリーズ環境貢献度 最高ランク『ZEH』比率 84%<sup>\*1</sup> で過去最高を更新

- 環境共生の住まいを積極展開し、最高ランク『ZEH』比率は 84%<sup>\*1</sup> に続伸
- エネルギー自給自足型住宅<sup>\*2</sup> (蓄電池搭載) は62%<sup>\*3</sup> と伸長

2022 年 6 月 14 日  
セキスイハイム中部株式会社

セキスイハイム中部株式会社（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長：丸山聡、以下「当社」）は、2021 年度の新築戸建住宅において、ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の中で環境貢献度が最高ランクの『ZEH』比率が 84%<sup>\*1</sup> となり、過去最高を更新しましたのでお知らせします。

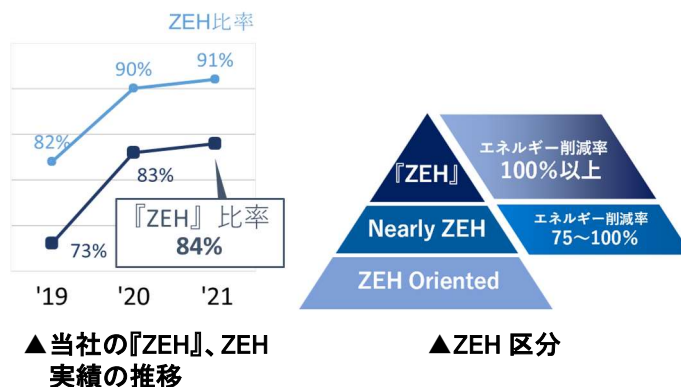
セキスイハイムグループでは、環境問題をはじめとした社会課題の解決や強固な経営基盤の構築を事業の成長力として位置づけ、「顧客価値」と「事業価値」の両立による ESG 経営を推進しています。経済性と環境共生の両立を考え、1997 年から太陽光発電システム（以下「PV」）を積極的に提案した結果、『ZEH』がより多くのお客様から支持をいただきました。

今後も『ZEH』の推進を軸に、新築戸建の提案力強化、サステナブルなまちづくりを行うことで、環境にやさしくニューノーマルにも対応した暮らし方提案の更なる充実を図ってまいります。

## 当社の『ZEH』比率状況について

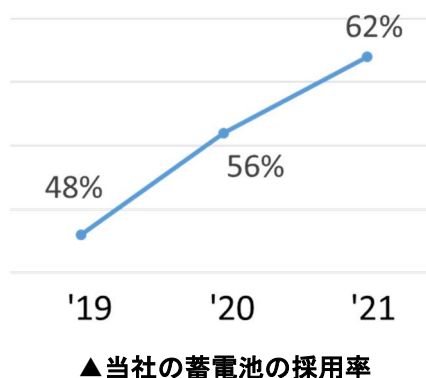
### 1. 環境共生の住まいを積極展開し、最高ランク『ZEH』比率は 84%<sup>\*1</sup> に続伸

国の ZEH の定義には、エネルギー削減率が最も高い『ZEH』の他、Nearly ZEH や ZEH Oriented も含まれていますが、当社は特に『ZEH』の普及に注力しており、2021 年度の新築戸建住宅における『ZEH』比率は 84%<sup>\*1</sup> と過去最高を更新。また、全体の ZEH 比率も 91%<sup>\*4</sup> となりました。今後も先進・スマートの立ち上がりで『ZEH』比率の向上に注力してまいります。



### 2. エネルギー自給自足型住宅<sup>\*2</sup> (蓄電池搭載) は62%<sup>\*3</sup> と伸長

セキスイハイムグループでは頻発する自然災害へのレジリエンスやエネルギーの価格高騰や供給不安に対応するため、蓄電池を搭載した「エネルギー自給自足型住宅<sup>\*2</sup>」の開発・普及に積極的に取り組んでいます。当社の 2021 年度新築戸建住宅販売における蓄電池採用率は 62%<sup>\*3</sup> に伸長。今後も引き続き、『ZEH』と合わせ、「エネルギー自給自足型住宅<sup>\*2</sup>」の普及を推進していきます。

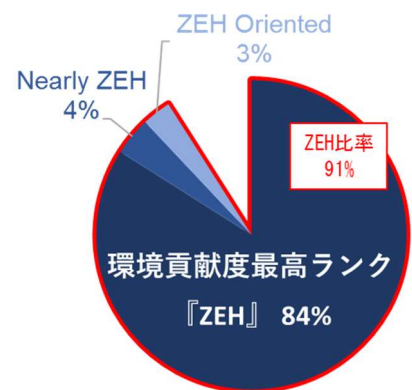


## 環境共生の住まいを積極展開し、最高ランク『ZEH』比率は84%<sup>※1</sup>に続伸

『ZEH』は、PV等の再生可能エネルギー（以下「再エネ」）等を加えて、基準一次エネルギー消費量<sup>※5</sup>から100%以上<sup>※6</sup>の削減と定められているのに対して、Nearly ZEHは75%以上、ZEH Orientedは再エネを除いて20%以上と定められています。

当社では、住宅での再エネ活用の推進を1997年から25年間続けており、PVの普及とともに、ZEHの普及・促進にも早くから注力してきました。住宅性能表示制度において2022年4月に新設された断熱等性能等級、一次エネルギー消費量等級の最高ランク（ZEH水準）相当の性能を、2018年時点で標準仕様として対応<sup>※7</sup>。将来的な省エネのニーズの高まりを早くから捉えて、お客様へのZEH提案活動を続けてきました。

特に、ZEHシリーズの中で環境貢献度が最高ランクの『ZEH』の普及に注力しており、2021年度の『ZEH』比率は84%<sup>※1</sup>と過去最高を更新。全体のZEH比率も91%<sup>※4</sup>となりました。



▲当社のZEH実績  
(2021年度)

## エネルギー自給自足型住宅<sup>※2</sup>(蓄電池搭載)は62%<sup>※3</sup>と伸長

頻発する自然災害時の停電リスクを見据えて、当社では2012年より、蓄電池を搭載し、できるだけ電気を買わない暮らしを目指す「エネルギー自給自足型住宅<sup>※2</sup>」を積極的に提案しています。

セキスイハイムグループでは、2021年に新開発の大容量蓄電池「e-PocketGREEN<sup>※8</sup>」を搭載し、年間で使用する電力量の約73%(約260日分相当)<sup>※9</sup>を、発電時にCO<sub>2</sub>を排出しないクリーンな電力であるPVで賄う最新モデル「新スマートパワーステーションFR GREENMODEL」を発売。また、リアルサイズの住宅で環境共生型の生活を体験できるショールーム「GREENMODEL PARK(グリーンモデルパーク)」を当社エリア内2か所に展開し、エネルギー自給自足型住宅<sup>※2</sup>(蓄電池搭載)の提案力を強化しました。

直近では、地政学的な要因によるエネルギー価格高騰リスクも見据えた提案を実施。その結果、環境貢献と経済性の両立、さらに災害時のエネルギー供給の安心<sup>※10</sup>に多くのお客様から共感、ご好評をいただき、2021年度下期のGREENMODEL受注棟数は前年同期比261%<sup>※11</sup>と、大幅に増加しました。

併せて、新築戸建住宅販売における蓄電池採用率は、62%<sup>※3</sup>と伸長しました。



▲大容量PVを実現する新スマートパワーステーションFR GREENMODEL



▲積水化学製フィルム型セル搭載の大容量蓄電池

今後も、サステナブル企業のトップランナーとして、『ZEH』およびエネルギー自給自足型住宅<sup>※2</sup>(蓄電池搭載)のさらなる普及促進を通して、環境負荷軽減に貢献してまいります。

- ※1 『ZEH』比率は、ZEHビルダーの報告方法に基づいて集計した実績です。
- ※2 すべての電力を賄えるわけではありません。電力会社から電力を購入する必要があります。
- ※3 2021年4月から2022年3月における蓄電池（VtoH含む）の契約ベース採用率（当社調べ）
- ※4 ZEHには『ZEH』のほか、Nearly ZEH、ZEH Oriented を含みます。また、ZEH比率はZEHビルダーの報告方法に基づいて集計した実績です。
- ※5 「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令」（平成28年経済産業省・国土交通省令第1号）に規定する住宅部分の基準一次エネルギー消費量
- ※6 入居者の電力使用状況等の条件により100%以上の削減ができない場合があります。
- ※7 国が定めるZEH外皮基準 $U_A$ 値0.6以下（4～7地域）を標準仕様で満たせるようにしました。プランによっては、開口を大きく取り過ぎること等により達成しない場合があります。
- ※8 e-PocketGREEN はニチコン株式会社との共同開発品です。
- ※9 [試算条件] 建築地：名古屋、電力契約：中部電力「スマートライフ（夜とく）」（2021年9月時点）、オール電化、PV容量9.72kW、蓄電池12kWh（グリーンモード）、快適エアリー（1階）、エコキュート、延床面積：121㎡、 $U_A$ 値0.54、電力使用量：実邸HEMSデータをもとに試算。使用する環境等の条件によっては、当該数値を満たさない場合があります。
- ※10 PVの発電量や蓄電池の充電残量が使用量や出力を上回る場合のみ、停電時でも電気を使用可能です。天候、季節、使用量、同時使用量（出力）によってはご利用できない機器が発生します。
- ※11 2020年下期と2021年下期におけるGREENMODELの契約棟数比（当社調べ）

## [セキスイハイム中部株式会社 会社概要]

- ◎設 立：1985年3月
- ◎資 本 金：3億円（積水化学工業株式会社 100%出資）
- ◎代 表 者：代表取締役社長 丸山 聡
- ◎売 上 高：478億円（2022年3月決算）
- ◎従 業 員 数：686名（単体）（2022年4月現在）
- ◎事 業 内 容：1.ユニット工法住宅の販売・設計・施工管理  
2.その他 集合住宅・在来工法等建築工事全般  
3.宅地分譲等不動産取引
- ◎事 業 所：本社（名古屋市）、名古屋西支店、南営業部、名古屋北支店、名古屋東支店、豊橋支店、特販営業部、資産活用営業部、北陸支店、岐阜支店、三重支店
- ◎展 示 場：愛知エリア 27拠点、岐阜エリア 7拠点、三重エリア 8拠点、北陸エリア 5拠点（2022年5月現在）
- ◎グループ会社：セキスイファミエス中部株式会社
- ◎本 社 所 在 地：〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 1-13-3（NHK名古屋放送センタービル 11F）